

西脇市環境審議会 第5回会議 会議録

日 時	平成 23 年 11 月 25 日（金）午前 10 時 00 分～午前 11 時 15 分
場 所	西脇市生涯学習まちづくりセンター 会議室 2
出席委員	横山孝雄、小林拓郎、竹内泰彦、木野内順宏、遠藤敏子、宮崎邦男、 篠原邦子、保社寛子、岩村義文、上坂政章、芝原幸夫 敬称省略（11 名）
欠席委員	大隈明文、久米敏正、宮崎宏和、村上康憲、藤原祥介 敬称省略（5 名）
事務局出席者	牛居部長、今村課長、亀尾主査、西村主査、伊藤主任 來住市長（答申時のみ）

1 会長あいさつ

- 環境基本計画策定について、予定通りであれば市長に答申するという最終段階に来ている。今日の審議もよろしく願いたい。
- 豊岡市でペレットストーブの助成が始まった。森林組合等で会社を作り、製造にも着手した。それと同時に市民が木を持ち込んだときに有料で買い取る制度もスタートさせた。着実な歩みを始めている。
- この環境基本計画も、作りあげた後、具体化に向かって、推進を強くしていきたいという思いを持っている。そのような次へのステップも含めて今日の最後の御審議をお願いしたい。

2 会議成立の報告

- 16 名中 11 名出席により会議成立

3 議事録署名人選出

- 委員 2 名を選出

4 報告事項

(1) 第 4 回西脇市環境審議会について

- 事務局から説明

(2) 市民意見提出手続（パブリックコメント）について

- 事務局から説明
- ホームページアクセス件数 173 件 文書公開コーナー閲覧 0 件
- 提出意見 0 件

【会長】：その他の市のパブリックコメントの状況はどうか。

【事務局】：意見が少ないのは確かである。あっても数件というのが実情。0 件とい

うパターンもある。

5 審議事項

(1) 計画書（案）について

- 事務局から説明
⇒ 意見なし

(2) 答申書（案）について

- 事務局から説明

【副会長】・「10月6日付か～037」とは何か。

【事務局】・「か～037」は市の文書番号である。市長から審議会会長に出した諮問書に付された番号。これにより文書を特定する。

【副会長】・市民には分かりにくい。括弧をしたらどうか。

【事務局】・そのように変更させていただく。

———— 休憩 ————

《午前10時40分再開。ここから來住市長が出席》

6 答申

- 西脇市環境基本計画の策定について、横山会長から來住市長に答申

7 市長あいさつ

- 去年の10月に諮問してから5回の審議会、市民ワークショップも7回開いていただいた。市役所の方でも庁内委員会にかけ原案作りを進めてきた。1年かけて、こうして答申をいただいたこと本当にありがたいと思っている。
- 最近はいろんな基本計画や理念条例が増えてきている。いろんなところで議論をしていただきながら、その思いが高まっていかないといけない。パブコメも10月に実施した。パブコメと言っても集まる意見は多くない。実際にはワークショップや審議会でも検討いただく中で市民の意識は高まってくる。
- 基本計画としてしっかりと位置づけし、議会にも報告して、これを実行していくということが非常に大事。
- 私は西脇の環境を誇りに思っている。大きな川が3つも合流する地域。平野部には田園風景が広がり、周りは山々に囲まれている。
- 環境問題はいろいろあり、グローバルな問題が大きな課題になる。地球温暖化や動植物の問題など。ハッチョウトンボが西脇からいなくなったと聞いた。知らないうちになくなっていくものもある。できれば守る方向で対策を打っていかないといけない。
- 原発からの脱却という意識が高くなっている。自然エネルギーの活用の問題

や、放射能汚染の問題も無関心ではられない。こうしたことをどうして守っていくか、地域の資源をどう育てていくかなど大きな課題がある。これからいろんな取組を始めるに当たっても、ワークショップや審議会のみなさんも、これからは実践者としてがんばっていただきたい。

- 本計画を受け、生活環境課から提案してくるものは積極的に予算化したい。
- 一年間、大変な御苦勞をおかけした。今後ともよろしくお願ひしたい。

- 【委員】**・答申の「市民、事業者へ周知を図ること」に関して、計画そのものを見ていただく訳にもいかない。圧縮して、こういうものができたということがわかるような要約版みたいなものを作る計画や予算があるのか。
- ・要約版を作るのであれば、望ましい環境像を文章ではなく、こんな西脇というイメージで迫れるようなものを作ればいい。地図と環境像のイメージをイラストで示して、みなさんがこういう西脇にしようという気持ちが湧くようなもの。
 - ・「未来へつなぐ環境都市を目指して」とあるが、西脇市がいう環境都市は、こういう環境都市を目指しているというもの、例えば、環境のいい環境都市というのあれば、環境に関してこんなにユニークな西脇ならではの取組をやっている、環境に配慮したような習慣、文化などがあり、それに誇りを持っているなど。この環境都市の意味を説明できるよう市として持っておかれたらどうかと思う。

- 【市長】**・予算化の問題について、12月の終わり頃から予算折衝に入る。前の計画でも要約版を作った。PRしていきたい。
- ・市民かんきょう大学というのがある。教育委員会サイドの大学は、知識を吸収する場所で、実践が伴わないということがよくある。ところが市長部局で作る大学は、実践をすぐ後ろに控えている。かんきょう大学にも基本計画のことをお伝えし、メンバーを増やしていくというのが大事。
 - ・ユニークな取組では、去年、サントリーの天然水の森というのを西脇市が受けることができた。大変大きな期待をしている。
 - ・西脇市民は川に背を向けて生きていると下流から怒られたことがある。最近、川は綺麗になって、杉原川は日本一綺麗な川だと思っている。自分たちの川、自分たちで守るという姿勢ができています。そういうところにも理念が必要。
 - ・国道175号線から国道427号線に入るところ、3年前までは草がボウボウだったが今は本当に綺麗な管理をしていただいている。予算はわずかしかつけていない。誇りが大事ではないかと思う。
 - ・答申に基づいた方向付けで地についての活動を展開していきたい。御指導をよろしくお願ひしたい。

- 【委員】**・計画の策定期間がよい。普通年度末策定なら予算期間が終わっている。戦略的に良くできている。短い時間でいろんな意見を聞いてよくまとめた。

・本格的に推進するとなると更に体制を充実する必要がある。どこも行革でスリムになりつつある。熱いうちに次に繋がったらい。

【会長】・市長が言われたサントリー天然水の森が環境雑誌に取り上げられている。

【委員】・市外の人と森を通じて交流が深まるのは非常にいいこと。

【会長】・推進会議のメンバーに入ってもらうのもよい。

《市長退席》

8 その他

○ 今後の予定等について事務局から連絡

【会長】・推進体制について、そのあり方、メンバー構成、募集の仕方など、みなさんのご意見もお聞きしながら、できるだけ速やかに立ち上がることを目指したい。

・概要版の作成について、ただの短縮版ではなく、手にとって見やすいものを作成するという作業の部分についても、みなさんに協力いただければと思う。専門的な協力もいただきたい。

【委員】・条例の基本方針が計画にも反映され、条例から計画の流れとなっているが、計画から条例への反映という流れがあってもいいと思う。

【会長】・事務局の方で、必要性、箇所、タイミング等を見計っていただいて、必要であれば、審議会に諮っていただいてもいい。

【委員】・計画の対象範囲の分野に循環型社会というのがあるが、資源循環とした方が他とのバランスがいいのではないかと。他にも影響してくるが。

【事務局】・会長と調整させてもらう。

【委員】・推進に当たってアクションプランを作るのか。

【事務局】・実行するための推進会議などは考えているが、基本計画が具体的な中身なので、実行計画までは考えていない。

【委員】・計画に手段が書かれていない。分野別の計画なりアクションプランのようなものがあつた方が、この施策によってこれを達成するということが明確になってくる。そういう検討もされた方がよい。

【会長】・事務局の方で、年度改まってからでも検討されて、可能であれば再度この審議会に諮ってもらってもよい。

【事務局】・以前に委員からどのようにこの計画を担保するのかという意見があつた。内部で調整させていただきたい。

【委員】・現在、西脇市で取り組んでいることがたくさんあるので、そういうものを明記すればよい。河川はグリーンリバー作戦というのがある。定期的にごみ拾いしている。そういうものを入れればよい。

・ポイ捨て禁止の啓発看板なども必要な箇所があれば各地区に広めていけばよい。

・水質検査も環境保全隊でやっている。地域整備課に提出している。それを

- 中で広めればよい。
- ・共にやっていけばよい。

9 副会長あいさつ

- いかにも実現していくかが課題。引き続き協力をお願いしたい。